

第21回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

Bグループリーグ第2戦		天候	晴	風	弱	ピッチの状態	良
<div><div><div>コンサドーレ札幌U-15</div><div>56分 大地</div><div>60分 大地</div></div><div>2</div><div><div><div>0</div><div>—</div><div>0</div></div><div><div>2</div><div>—</div><div>1</div></div></div><div>1</div><div><div>ジェフ習志野</div><div>62分 遠藤</div></div></div>							
シ ス テ ム				シ ス テ ム			
4-4-2				3-5-2			
<p>ジェフのキックオフで試合は始まった。昨日の事は忘れて、どん欲に1勝を狙いたいコンサドーレだが序盤はジェフの勢いに押され気味、立て続けにシュートを浴びる。しばらく膠着状態が続くが、17分ジェフに決定的なチャンスが来る。ジェフ11番がゴール前でフリーとなるが、シュートはGK安田の正面をつき、こぼれ球となるが、群がるジェフの選手に、コンサドーレDFは身をていして凌いだ。コンサドーレのコンビネーションが良くなってきたのは25分過ぎ、古田が右からクロスを入れる、こぼれたボールを、今度は菅原が左サイドをドリブルで駆け上がり、すぐにはゴール前に放り込まずもう一度ボールを回して、最後は古田ヘスルーパス。シュートは僅かに右ポストを外したが惜しいチャンスだった。一方ジェフも31分、一本の縦パスが11番にとおり、シュートを打つが、ポストに当たるコンサドーレにとってはラッキーな展開。コンサドーレ⑨大地も負け地とシュートを放つが、バーの上を越える。前半はシュート数ジェフ9本、コンサドーレ3本が示すように、ジェフが押し気味に試合を進め終了した。後半勝負に出たいコンサドーレだが、最初のシュートはジェフ。ニアサイドへのクロスは中山が凌ぐ。その直後コンサドーレは、⑩岡本が絶妙なタイミングでジェフマークを外し、左サイドを駆け上がる裏へ走り込んでいた⑪小島へのパスは、ジェフDFに当たり、ボールの勢いが変わった分だけ、ジェフGKの飛び出すタイミングがあわず、小島はループシュートを狙う。しかし、ジェフDFが辛うじてクリア。コンサドーレベンチからため息がもれる。</p> <p>流れを呼び込みたいコンサドーレは、疲れの見え始めた岡本に替え、⑭三上を投入。ジェフもクロスを入れ、ヘディングで得点を狙うが、精度に欠けて、ゴールすることは出来ない。コンサドーレとしては、簡単にヘディングをさせない積極的なディフェンスが必要か。</p> <p>均衡を破ったのがコンサドーレ56分、十川→平井→大地とつながり、ジェフGKの飛び出すタイミングを良くみて、ゴールへ流し込み、待望の先制点を奪う。勢い付いた大地はその4分後に、スローインを受けた三上から、ゴールラインに平行なペナルティエリア上でパスをもらい、一瞬で振り向きシュート、ボールはゴール右ポストに当たり、ゴールマウスに吸い込まれていった。その直後、ジェフに1点を返されるが65分にも古田のスピードある突破から、シュートを打つが追加点とはならない。必死に追いつこうとするジェフ、逃げ切りたいコンサドーレ、終盤の攻防は見応えがあったゲームであった。</p>							
戦評 加藤 孝俊							